

## 第3章 現状と課題

### 1 文京区の地域特性

#### (1) 地域環境

##### ○ 文京区の地理的特性

文京区は東京23区の中央部に位置し、中心区として利便性に富んだ特性を持っています。面積は11.31 km<sup>2</sup>で、23区中20番目の広さです。

地形は坂とがけが多く起伏に富み、台地は主に住宅地であり、低地は商工住の混在した地域となっています。

##### ○ 「文教のまち」としての文京区

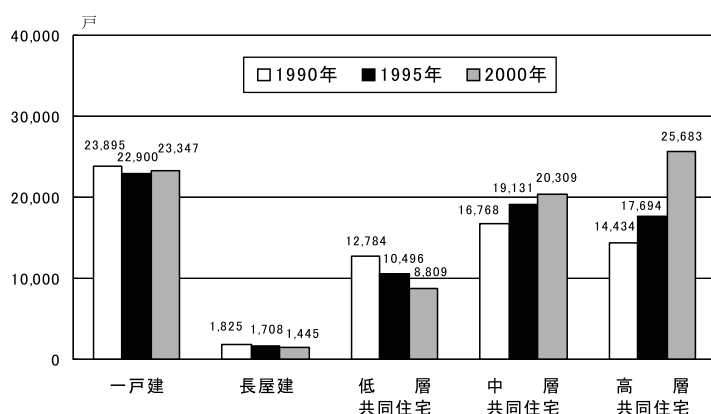
江戸時代には、大名屋敷や武士の邸宅が建てられ、神社仏閣が多数建立されたことが、現在のみどり豊かな環境の基盤となっています。

明治期に入ると、湯島の昌平坂学問所を引き継ぐ形で学校群が作られ、本郷かいわいを中心に、学者・文化人が多く住むようになりました。「文教のまち」としての特徴が形成されました。

##### ○ マンション等の増加による居住形態の変化

近年の傾向として、高層共同住宅の増加が著しく、今後も住宅戸数に占めるマンション等の割合は、更に高くなると予測されます。

【図表】3-1 住宅の建て方別割合



注：共同住宅は、低層が1・2階建、中層が3～5階建、高層が6階建以上。その他の住宅は372戸（2000年）

資料：「国勢調査」各年

## (2) 少子化・高齢化の現状

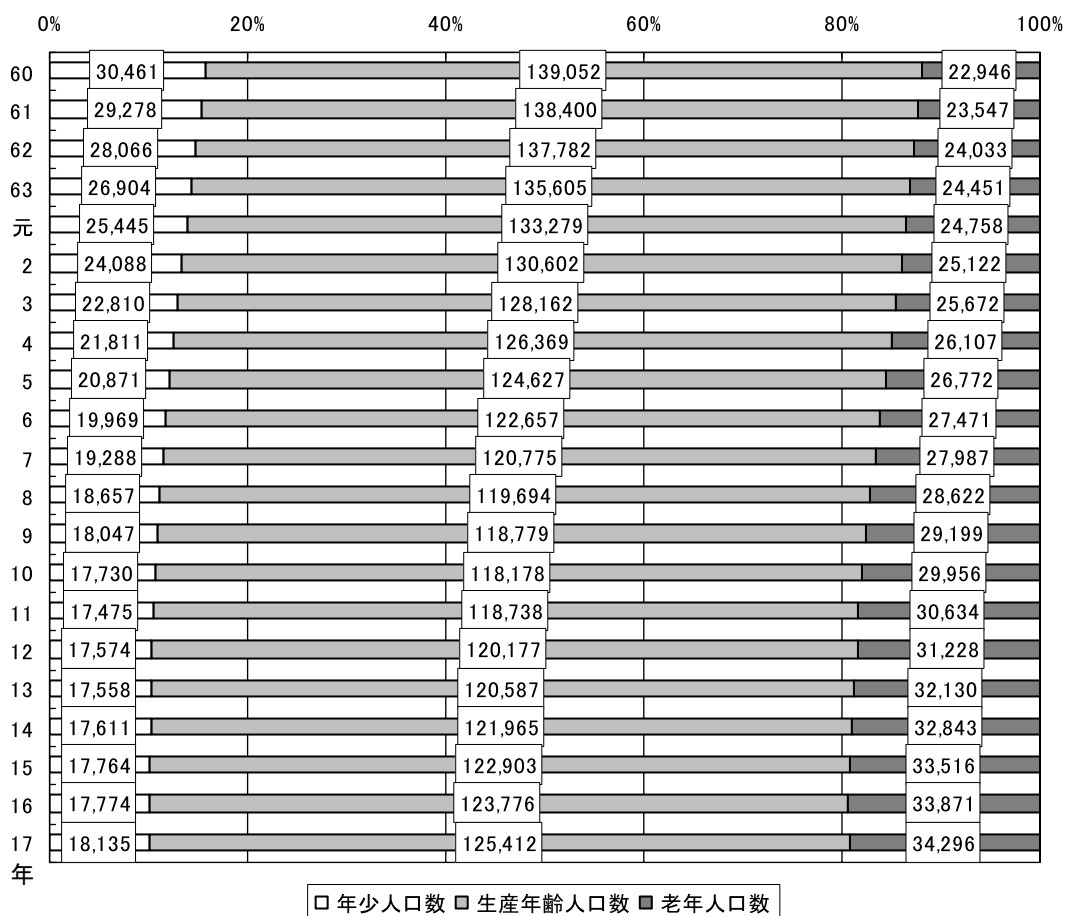
### ○ 人口増加の傾向と住民基本台帳ベースの人口

本区の人口は、昭和38年以降減少を続けてきましたが、平成10年の後半から増加に転じました。その後、人口は毎年増加を続け、住民基本台帳上の人口は、平成17年1月1日現在、177,843人となっています。(外国人登録者数は、6,457人となっています。)

### ○ 少子化・高齢化の現状と人口構成

人口構成は、昭和60年には、年少人口が約15.8%、高齢者人口が約11.9%でしたが、平成2年には高齢者人口が年少人口を上回るようになりました。その後も、少子化・高齢化は進行してきましたが、直近の5年程度では、全人口に占める年少人口の割合は10%台前半、高齢者人口の割合は19%台前半で推移しています。

【図表】3-2 年齢三区分別人口（構成比）の推移



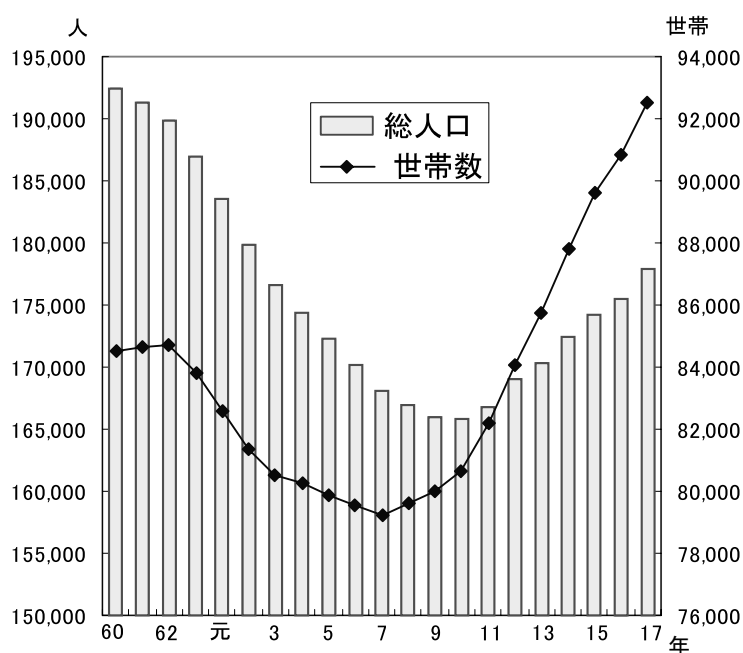
資料：住民基本台帳（各年1月1日現在）

### (3) 世帯状況の変化

#### ○ 世帯数の増加と1世帯当たりの人数の減少

本区の世帯数は、住民基本台帳上（いずれも1月1日現在）昭和60年に84,539世帯であったものが、平成17年には92,543世帯となっています。この間、人口は減少から増加に転じましたが、1世帯当たりの人数は昭和60年の2.28人から平成17年の1.92人へと一貫して減少を続けています。

【図表】3-3 人口と世帯数の推移



| 年  | 総人口     | 世帯数    |
|----|---------|--------|
| 60 | 192,459 | 84,539 |
| 61 | 191,225 | 84,615 |
| 62 | 189,881 | 84,685 |
| 63 | 186,960 | 83,787 |
| 元  | 183,482 | 82,569 |
| 2  | 179,812 | 81,375 |
| 3  | 176,644 | 80,506 |
| 4  | 174,287 | 80,234 |
| 5  | 172,270 | 79,896 |
| 6  | 170,097 | 79,543 |
| 7  | 168,050 | 79,211 |
| 8  | 166,973 | 79,606 |
| 9  | 166,025 | 79,996 |
| 10 | 165,864 | 80,645 |
| 11 | 166,847 | 82,167 |
| 12 | 168,979 | 84,089 |
| 13 | 170,275 | 85,739 |
| 14 | 172,419 | 87,810 |
| 15 | 174,183 | 89,620 |
| 16 | 175,421 | 90,841 |
| 17 | 177,843 | 92,543 |

資料：住民基本台帳（各年1月1日現在）

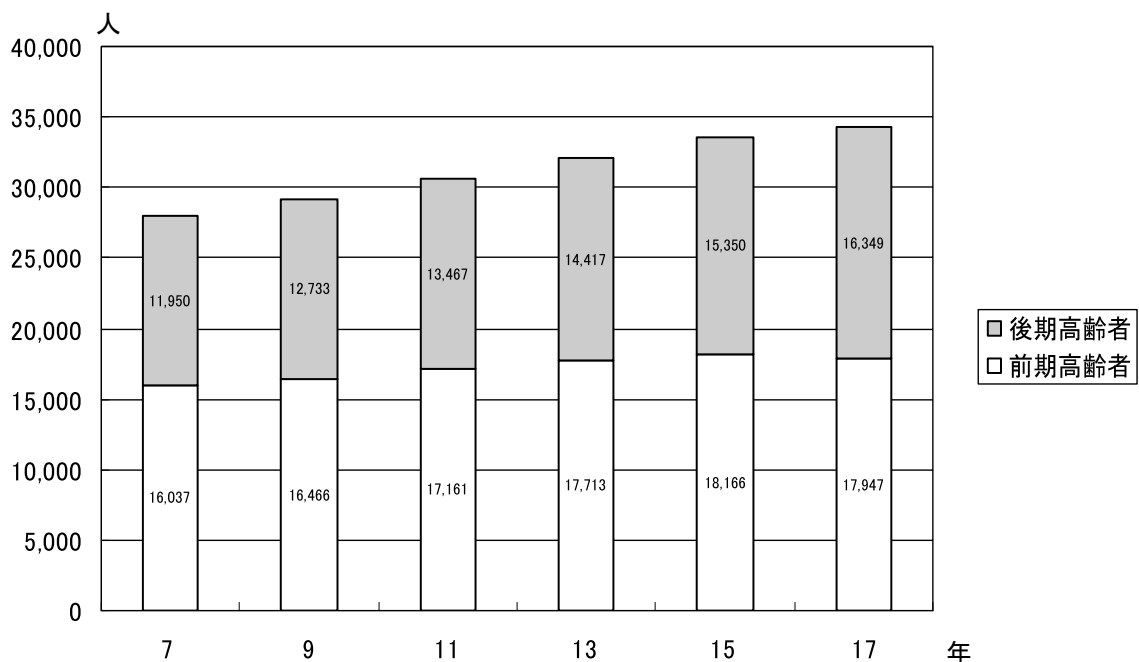
## 2 高齢者の現状

○ 本区の人口は、昭和38年をピークに平成10年まで減少を続けましたが、その後は増加に転じ、平成17年1月1日現在では177,843人となっています。一方、65歳以上の高齢者は平成7年1月1日現在27,987人でしたが、平成17年1月1日現在では34,296人となりました。高齢化率（全人口に占める65歳以上の割合）は16.6%から19.3%となり、この10年間で急速に高齢化が進んだこととなります。

高齢者は今後も緩やかに増加していきますが、生産年齢人口の増加もあり、最近ではその比率は鈍化する傾向を示し、ここ4年ほどは本区の高齢化率は落ち着いてきています。

なお、65歳から74歳までの前期高齢者と75歳以上の後期高齢者の割合をみると、平成7年では、57%対43%と前期高齢者がほぼ6割を占めていましたが、平成17年になると、52%対48%と5割近くまで減少し、長寿化を反映して後期高齢者の占める割合が高くなっています。

【図表】3-4 高齢者人口の推移

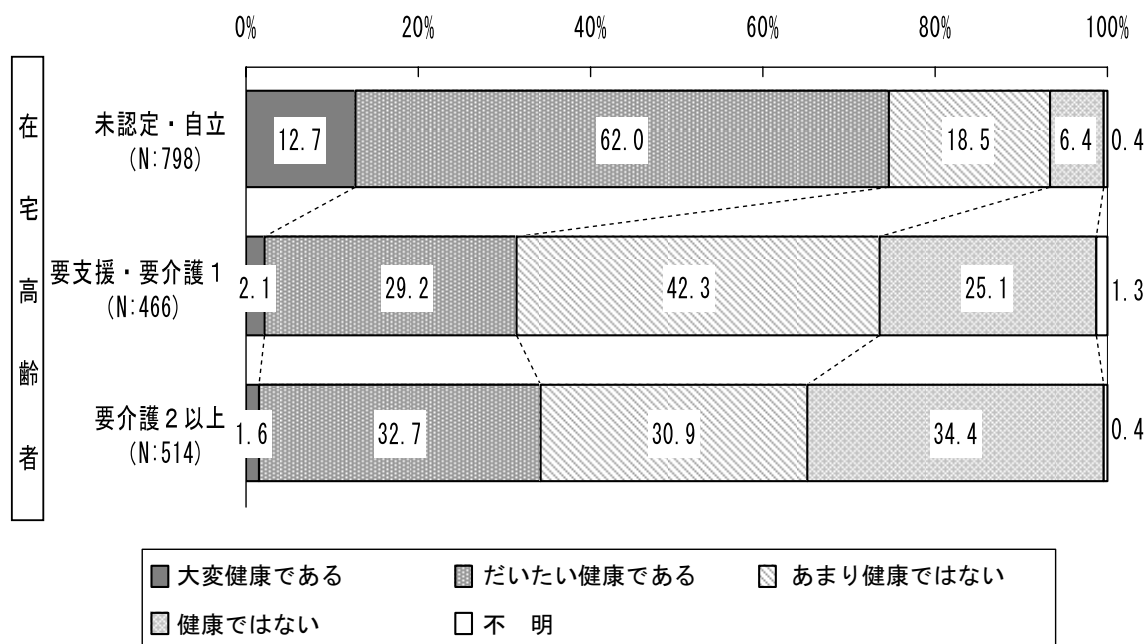


資料: 文京区人口統計資料(各年1月1日現在)

○ 本区の高齢化率を23区全体でみると、本区は8番目に高く、23区平均の18.3%を上回っています。東京都平均は17.9%となっていますが、全国平均では19.8%と本区を上回っています（平成17年1月1日現在）。

○ 平成16年度に実施した「文京区高齢者実態調査」から高齢者の健康状態についてみると、介護保険制度における未認定・自立では、「大変健康である」と「だいたい健康である」を合わせて、7割以上が健康であるという認識を示しています。要支援・要介護1や要介護2以上でも、3割以上が自らの健康状態について同様に答えています。

【図表】3-5 在宅高齢者の介護度別健康状態



資料：文京区高齢者実態調査報告書（平成17年3月）

○ 同じく、現在の生活の場所について尋ねたところ、未認定・自立では93.7%、要支援・要介護1では88.8%、要介護2以上では73.2%が自宅で生活し、これ以外では医療機関や介護保険施設等が生活の場所となっています。